

## ようやくや立ち上がるコロナワクチンの接種

いつもの年より”はやい”出足になった梅雨ですが、我が家の裏に積み重ねた雪山の完全雪解けは、5月7日でした。

これは昨年と同じです。

雪の多い冬でしたが、春の訪れからの気温が高かったのだと思われます。

確かに桜の開花は、2週間も早かったですよね。



今月もコロナ関連からです。

変異株といわれる英国型とインド型、感染力が強く、ほとんどの地域に広がっているとのこと。

水際作戦の完全なる失敗であったことを示す現状の一つです。

少ないけれども我が県にも入っておりますよ。

今のところ、ワクチン接種が唯一の防衛策で、治療薬は無い状態です。

『守り』は、積極的に接種を受けることです。

5月5日サルナートでの集団接種会場で余分になったワクチンで医療従事者枠での接種を受けました。

やっど”番”が来たねという気分とだいぶ待たされたねという思いでした。

医療従事者には優先接種をすると声高に宣言されておりましたから。

北村山公立病院での従事者向けの接種もやっど先月中旬の17日より始まったようです。

ワクチン接種に関しては、インフルエンザ・ワクチン接種と同じようにかかりつけ医のもとで受ける個別接種が最善と考えております。

今回は超低温状態保存(マイナス70℃)が必要であることから出来なかったようですが、先月中旬に条件緩和の製品も認可されたようですので、徐々に個別接種になってくると思われます。

清治医院では、今でも個別接種可能ですから、受付にご相談下さい。



ビニールトンネルの外れたスイカ畑や、すくすく伸びている田んぼからのカエルの合唱とても良い光景ですね。

災害も出ない状態で収穫期を迎えることが出来れば、なお一層良い事になります。

神頼みになってしまうようですが、結果良ければ何でも良いですよ。

また来月まで、ごきげんよう!!

院長 清治 邦夫